

ピアノ四重奏団

ENSEMBLE RARO

アンサンブル・ラロ



Photo: Al Hirano@Guggenheim House in Kobe

アンサンブル・ラロの名前は、ロベルト・シューマンが音楽評論をする際に作り上げた架空の団体「ダヴィッド同盟」の一員であるラロ博士に由来しています。シューマンはこの人物を新しい道筋を照らすような人として描いています。私たち4人はそれぞれ母語を異にしますが、ラロ博士のように音楽という言葉で対話し、伝統的でありながら斬新な解釈で、皆様の印象にいつまでも残るような演奏をしたいと思っています。

今回の東京での公演は私たちにとって、初めての日本での自主公演です。プログラムには、そのシューマンが作曲した唯一のピアノ四重奏曲を入れました。私たちがとても大切にしている曲です。是非お楽しみください。

チェロ奏者 ヘーデンボルク・直樹
(ウィーンフィルハーモニー管弦楽団)

日時

2018. **10.16** (火) **19:00** 開演 (開場は30分前)

会場

JT アートホール アフィニス (東京都港区虎ノ門2-2-1 JTビル2F)

チケット

一般 4,000円 22歳以下 2,000円 (詳細は裏面をご覧ください)

曲目

- ・J.ブラームス：ピアノ四重奏曲 第2番 イ長調 作品26
- ・R.シューマン：ピアノ四重奏曲 変ホ長調 作品47
- ・G.エネスコ：ルーマニア狂詩曲 第1番 イ長調 作品11 (ピアノ四重奏版)

主催・お問い合わせ：有限責任事業組合アンサンブル・ラロ，ジャパン info@ensemblararo.jp

後援：オーストリア大使館 / オーストリア文化フォーラム、

Royal Academy of Music (英国王立音楽院) / 英国王立音楽院日本センター

オーストリア文化フォーラム



ROYAL
ACADEMY
OF MUSIC

<ピアノ四重奏団 アンサンブル・ラロ>

2004年に結成。ダイアナ・ケトラー (Pf)、アレクサンダー・シトコヴェツキー (Vn)、ラズヴァン・ポポヴィッチ (Va)、ヘーデンボルク・直樹 (Vc) によるピアノ四重奏団を核としたヨーロッパで活躍する若手音楽家を交えて構成される室内合奏団。ヨーロッパにおける室内楽の豊かな伝統と、革新的なアプローチを結合することを目指している。結成以来、ヨーロッパ各地の音楽祭を中心に活躍し、大成功を収めている。中でもバイエルン・ラジオにより収録された演奏はNHKほか、世界各地で放送された。2009年にはウィーン・コンツェルトハウス、2010年にカーネギーホール等にも招聘され、高い評価を得ている。また日本では2006年より毎年、神戸国際芸術祭をはじめ、各地のホールに招聘されている。また『Songs and Dances of Life』(2007)、『Canti Drammatici』(2008)、『Anotimpurile-The Seasons』(2009)、『Love Songs』(2012)、『DOHNANYI DVORAK SUK』(2013)、『Lived and Dreamed』(2015)、『Being EarNeST』(2016)、『Rhapsodie Roumaine』(2018)の8枚のCDをリリースしている。



Bernhard Naoki Hedenborg



Diana Ketler



Alexander Sitkovetsky



Razvan Popovici

ヘーデンボルク・直樹 (チェロ)

オーストリア・ザルツブルク出身。12歳でモーツアルテム管弦楽団との共演でソロ・デビュー。ハインリッヒ・シフの下で研鑽を積む。1993年「若い音楽家のための国際チェロコンクール」(伊)優勝。2007年にはアイゼナハ歌劇場(独)のソリスト・イン・レジデンスを務める。2011年よりウィーン国立歌劇場管弦楽団、2014年よりウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の正式団員として活躍。2006年より神戸国際芸術祭の音楽顧問を務める。

ダイアナ・ケトラー (ピアノ)

ラトヴィア・リガ出身。モーツアルテム音楽院、ロンドン・ロイヤル・アカデミーを最優秀で卒業し、2003年には同アカデミー最高名誉賞を受賞。2004年よりキームガウ音楽祭(独)の芸術監督を務めるほか、榎本大進、川島成道ら日本人演奏家との共演も多い。2008年にはラトヴィア政府から功績を称えられて表彰を受ける。現在ロンドン・ロイヤル・アカデミー教授。

アレクサンダー・シトコヴェツキー (ヴァイオリン)

ロシア・モスクワ出身。メニューインに見出され8歳でソロ・デビュー。メニューイン音楽院、ロンドン・ロイヤル・アカデミーで学ぶ。ソリストとして世界のオーケストラで活躍するほか、室内楽演奏では2011年よりシトコヴェツキー・トリオとしても活動している。現在ロンドン・ロイヤル・アカデミー教授。マンチェスターの王立ノーザン音楽大学、チューリッヒ芸術大学でも教鞭をとる。

ラズヴァン・ポポヴィッチ (ヴァイオラ)

ルーマニア・ブカレスト出身。モーツアルテム音楽院でペーター・ランガートナーに師事。2004年よりキームガウ音楽祭(独)の総合監督、2006年よりブカレストSoNoRo音楽祭の芸術監督を務め、榎本大進やエリック・シューマンら世界で活躍する演奏家を招聘している。マスタークラスでの指導力にも優れ、多くの演奏家から厚い信頼を得ている。ドイツ在住。

入場券のお取り扱い

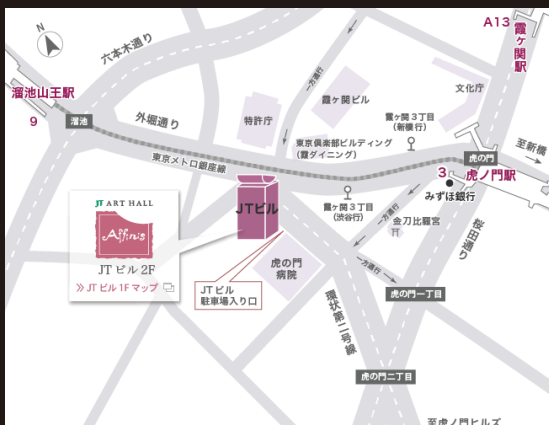
◆ローソンチケット 店舗端末、Web、またはTEL (0570-084-003)にてお求めください (Lコード: 32113)

◆Peatix peatixのWebサイトからお求めください (<http://enssemblerarotokyo.peatix.com>)
右のQRコードをご利用ください



※いずれも別途手数料がかかります / 都合により曲目が変更になる場合がございます / 未就学児のご入場はご遠慮いただいております

会場へのアクセス



【JT アートホール アフィニス】

東京都港区虎ノ門 2-2-1 JTビル 2F / 電話: 03-5572-4945

虎ノ門駅 3番出口より徒歩4分

溜池山王駅 9番出口より徒歩5分

霞ヶ関駅 A13番出口より徒歩7分